

課程	公益学研究科 修士課程	年度	2026年度	開講時期	春学期
科目名	共創の技法				
担当教員	**	単位	2単位		
授業概要	地域づくりにおける協働・共創の技法であるファシリテーションを、ワークショップ、グループワークにより、実践的に学びます。具体的には、地域課題の解決にむけた事業（ワークショップ）の企画・立案、準備・運営、評価（ふりかえり）の一連の過程を実際に体験していきます。また、授業を一般に公開し、市民、企業、行政、NPO など多様な立場の方々と院生が、ともに学び、協働・共創する場とします。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーションの理論を学び、地域のそれぞれの持ち場で応用できるスキルを身につける。 ・対話の力を磨き、お互いの強みを活かす協働・共創の技法を身につける。 ・社会づくりや地域づくりに主体的に参加する態度・心構えを醸成する。 				

授業計画	
回	授業内容
第1回	ガイダンス：目的・理念、すすめ方 ※武田・加留部 （4月18日・土・2時限）
第2回	ファシリテーションとは（1）理論と活用事例 ※武田・加留部 （4月18日・土・3時限）
第3回	ファシリテーションとは（2）技法 ※武田・加留部 （4月18日・土・4時限）
第4回	ファシリテーション演習：自己紹介等 ※武田・外部講師 （5月16日・土・2時限）
第5回	ファシリテーション・グラフィック（1）理論 ※武田・外部講師 （5月16日・土・3時限）
第6回	ファシリテーション・グラフィック（2）演習 ※武田・外部講師 （5月16日・土・4時限）
第7回	グループワークの説明、テーマ発表、グループ分け ※武田 （6月13日・土・1時限）
第8回	グループワーク（1）ワークショップ企画・立案 ※武田 （6月13日・土・2時限）
第9回	グループワーク（2）ワークショップ準備（役割分担、資料作成等） ※武田 （6月13日・土・3時限）
第10回	発表会準備（1）ワークショップ準備（進行内容の確認等） ※武田 （7月4日・土・1時限）
第11回	発表会準備（2）ワークショップの練習 ※武田 （7月4日・土・2時限）
第12回	ワークショップ発表会（1～3グループ） ※武田・加留部 （8月1日・土・1時限）
第13回	ワークショップ発表会（4～6グループ） ※武田・加留部 （8月1日・土・2時限）
第14回	グループのふりかえり ※武田・加留部 （8月1日・土・3時限）
第15回	講評、ふりかえり ※武田・加留部 （8月1日・土・4時限）

ハイフレックス授業可							
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回

成績評価	各回の授業への関与20%、グループワーク・発表内容50%、レポート30%。		
前提科目	後継科目		
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・武田真理子、伊藤真知子、加留部貴行編『地域共創のすすめ一人がまなぶ、人がつながる、地域がつながるー』（北樹出版、2025年）ISBN: 978-4-7793-0779-9 ・その他、毎回プリントを配布する。 		
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・加留部貴行『参加したくなる会議のつくり方 公務員のためのファシリテーション入門』（ぎょうせい、2021年）ISBN: 978-4-3241-0962-5 ・その他、授業で紹介する。 		
予復習内容・所要時間	配布資料の予習と復習。（1時間程度）		

その他・注意事項

土曜日5回の集中開講という変則的な時間割です。
多様な人たちと出会い、対話して、学び合い、何ごとかを創り・ふりかえる体験を楽しんでいきましょう。